

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,842	△7.2	730	△25.5	707	△34.5	436	△40.6
2025年3月期第1四半期	9,523	17.1	980	22.2	1,079	23.2	735	27.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 138百万円(△91.3%) 2025年3月期第1四半期 1,592百万円(5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	16.22	16.19
2025年3月期第1四半期	27.38	27.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	48,354	38,235	79.0	1,418.97
2025年3月期	49,242	38,715	78.5	1,436.84

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 38,201百万円 2025年3月期 38,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,550	△0.7	2,460	△11.0	2,380	△12.7	1,700	△10.0	63.26
通期	39,160	△0.1	4,740	△10.5	4,600	△15.1	3,200	△17.7	119.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	28,392,000株	2025年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,469,939株	2025年3月期	1,480,657株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	26,913,977株	2025年3月期1Q	26,848,504株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の動きが続く中、個人消費や設備投資の持ち直しの動きから景気は緩やかな回復が見られました。一方、米国の通商政策の動向、為替相場の不安定な推移、物価上昇やエネルギー価格高騰などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では好調な企業業績により、経済は堅調に推移してはいましたが、通商政策の動向が米国内経済に与える影響が、引き続き見通し困難な状況にあります。欧州ではウクライナ情勢や中東地域紛争の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市況の低迷や米中対立激化が懸念されることから、依然として景気回復ペースは鈍化すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続く中、消費者の節約志向が依然として継続し、人材確保の難しさもあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。そのような環境下でも、大手・中堅ベーカリーによる設備投資は堅調さを維持し、流通・外食向けは復活傾向にある中、観光業界ではインバウンド観光客の増加による需要回復の動きが弱含みにありますが、当社では中小企業省力化投資補助金の対象製品に登録されたことに伴い、補助金を活用した設備案件の増加に対応しております。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の3年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に引き続き取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,842百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益は730百万円（前年同四半期比25.5%減）、経常利益は707百万円（前年同四半期比34.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は436百万円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、仕入商品の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,817百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は839百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比33.1%増加となりました。

主な要因は、前期以前に受注した大口案件の納入が完了したことなどによります。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが155円89銭から144円59銭と7.2%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,460百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は売上原価率が上昇したことなどにより、27百万円（前年同四半期比66.5%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比5.1%増加となりました。

主な要因は、中東地域において製パンラインの売上が増加したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが167円88銭から163円80銭と2.4%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,198百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

セグメント損失（営業損失）は大型展示会の出展で広告宣伝費が増加したことなどにより、5百万円（前年同四半期はセグメント利益106百万円）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、修理その他の売上は減少しましたが、製パンライン等の売上が増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は615百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は172百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジペーカーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比5.7%減少となりました。

主な要因は、既存顧客向けの売上が減少したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが155円89銭から144円59銭と7.2%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,632百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は為替影響などにより、443百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は117百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

主な要因は、気温上昇によりパン需要が減少したことなどがあげられます。

セグメント利益（営業利益）は人件費ならびに材料費の高騰などで売上原価率が上昇したことにより、9百万円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて888百万円減少し、48,354百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少などです。負債は、前連結会計年度末に比べて408百万円減少し、10,118百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少などです。純資産は、前連結会計年度末に比べて480百万円減少し、38,235百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少などです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。2025年5月14日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,777,876	14,396,838
受取手形及び売掛金	4,094,259	3,518,429
商品及び製品	6,095,998	6,425,933
仕掛品	1,984,520	2,400,836
原材料及び貯蔵品	435,437	404,578
その他	721,464	891,442
貸倒引当金	△35,852	△32,915
流動資産合計	29,073,703	28,005,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,156,230	17,029,970
減価償却累計額	△9,787,658	△9,802,038
建物及び構築物（純額）	7,368,571	7,227,931
機械装置及び運搬具	11,314,023	11,479,217
減価償却累計額	△8,703,296	△8,641,309
機械装置及び運搬具（純額）	2,610,727	2,837,907
工具、器具及び備品	2,050,138	2,081,951
減価償却累計額	△1,798,184	△1,815,760
工具、器具及び備品（純額）	251,953	266,191
土地	4,100,093	4,079,081
リース資産	28,392	28,392
減価償却累計額	△9,653	△11,085
リース資産（純額）	18,738	17,306
建設仮勘定	626,103	807,237
有形固定資産合計	14,976,189	15,235,654
無形固定資産	1,211,036	1,163,299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,953,777	1,889,044
退職給付に係る資産	1,803,250	1,805,803
その他	227,700	258,941
貸倒引当金	△3,255	△3,837
投資その他の資産合計	3,981,472	3,949,951
固定資産合計	20,168,698	20,348,906
資産合計	49,242,402	48,354,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,419,758	1,228,897
短期借入金	660,730	470,730
リース債務	6,125	5,950
未払金	951,496	865,661
未払費用	665,636	1,423,303
未払法人税等	833,684	516,551
前受金	3,416,097	3,607,816
賞与引当金	775,551	391,865
役員賞与引当金	28,900	8,550
その他	109,060	122,600
流動負債合計	8,867,041	8,641,926
固定負債		
長期借入金	737,414	662,231
リース債務	14,513	13,112
繰延税金負債	534,118	427,472
再評価に係る繰延税金負債	357,262	357,262
資産除去債務	16,877	16,877
その他	40	40
固定負債合計	1,660,226	1,476,997
負債合計	10,527,268	10,118,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,180,279	7,189,416
利益剰余金	23,144,905	22,962,404
自己株式	△720,590	△715,286
株主資本合計	36,956,343	36,788,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041,437	995,581
土地再評価差額金	△1,703,069	△1,703,069
為替換算調整勘定	2,073,678	1,828,961
退職給付に係る調整累計額	298,832	291,886
その他の包括利益累計額合計	1,710,878	1,413,358
新株予約権	47,911	33,481
純資産合計	38,715,134	38,235,124
負債純資産合計	49,242,402	48,354,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	9,523,860	8,842,655
売上原価	5,371,213	4,885,884
売上総利益	4,152,646	3,956,770
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	111,751	185,939
荷造運搬費	446,137	414,337
貸倒引当金繰入額	5,945	2,194
販売手数料	249,828	281,665
給料及び手当	804,400	829,114
賞与引当金繰入額	219,723	218,472
役員賞与引当金繰入額	7,320	8,550
退職給付費用	34,260	38,228
法定福利費	170,717	165,610
旅費及び交通費	133,664	131,021
減価償却費	149,009	149,114
研究開発費	198,437	148,957
その他	640,988	653,470
販売費及び一般管理費合計	3,172,186	3,226,677
営業利益	980,460	730,093
営業外収益		
受取利息	11,469	29,893
受取配当金	21,924	27,820
物品売却益	4,523	4,776
為替差益	58,556	—
保険解約返戻金	—	1,966
電力販売収益	6,850	6,357
その他	10,697	11,509
営業外収益合計	114,022	82,323
営業外費用		
支払利息	2,330	3,507
為替差損	—	98,378
電力販売費用	7,540	1,883
固定資産除却損	3,248	58
その他	1,387	1,241
営業外費用合計	14,508	105,069
経常利益	1,079,975	707,347
税金等調整前四半期純利益	1,079,975	707,347
法人税、住民税及び事業税	490,453	336,562
法人税等調整額	△145,613	△65,675
法人税等合計	344,839	270,886
四半期純利益	735,135	436,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	735,135	436,460

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	735,135	436,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,400	△45,856
為替換算調整勘定	772,831	△244,717
退職給付に係る調整額	11,775	△6,945
その他の包括利益合計	857,006	△297,519
四半期包括利益	1,592,141	138,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,592,141	138,940

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,279,386	1,183,366	1,168,657	604,337	5,235,747
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,887,309	29,399	—	—	1,916,709
計	4,166,695	1,212,766	1,168,657	604,337	7,152,456
セグメント利益	892,752	82,922	106,904	151,941	1,234,520

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,154,868	133,244	4,288,113	9,523,860
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	1,916,735
計	4,154,868	133,271	4,288,139	11,440,595
セグメント利益	510,581	24,541	535,122	1,769,643

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ
- (3) アジア……………中国、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,769,643
セグメント間取引消去	△218,881
本社一般管理費(注)	△570,301
四半期連結損益計算書の営業利益	980,460

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,817,514	1,460,599	1,198,868	615,502	5,092,484
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,217,848	20,761	—	—	2,238,609
計	4,035,362	1,481,360	1,198,868	615,502	7,331,093
セグメント利益又は損失(△)	839,363	27,775	△5,768	172,304	1,033,675

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,632,560	117,610	3,750,170	8,842,655
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,238,609
計	3,632,560	117,610	3,750,170	11,081,264
セグメント利益又は損失(△)	443,981	9,153	453,134	1,486,810

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イスラエル
- (3) アジア……………中国、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,486,810
セグメント間取引消去	△161,059
本社一般管理費(注)	△595,657
四半期連結損益計算書の営業利益	730,093

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	356,244千円	374,256千円

(重要な後発事象)

2025年5月14日に適時開示いたしました「(開示事項の経過) 連結子会社における新工場建設の検討開始に関するお知らせ」に関しまして、当社連結子会社であるオレンジベーカリー(ORANGE BAKERY, INC.)は、2025年7月8日付で新工場建設用の不動産を30百万USドルにて取得いたしました。